

平成 20 年 10 月 1 日

各 位

会 社 名 株式会社 日本構造橋梁研究所
代表者名 代表取締役社長 古川 毅
問合せ先 取締役管理本部長 松原 啓治
(電話番号 03-5803-1721)

吸収分割の実施および復建調査設計株式会社グループへの参画について

当社は、本日、吸収分割により、(旧)株式会社日本構造橋梁研究所(本日、株式会社構造橋梁研究所に商号変更。以下「旧社」といいます。)から、定款記載の全ての業務を承継いたしましたのでお知らせします。

当社は復建調査設計株式会社の 100%子会社であり、今後は同社グループ企業の一員として業務を遂行してまいりますので併せてご報告いたします。

記

吸収分割の経緯について

当社は、昨今の建設コンサルタント業界における厳しい状況の中で、更なる経営基盤の強化を図ることが重要であると認識しております。

こうした状況に対処するため、会社法による吸収分割の手法を用いて旧社の過大債務等の整理を図りつつ、建設コンサルタント事業等に必要な資産・負債・資本・人員等を全て当社が承継することにより、企業基盤の充実と競争力の強化を図り、建設コンサルタント事業等の円滑な運営を図って参りたいと考えております。

グループ企業の一員として

旧社は橋梁設計を中心に昭和 37 年の創業以来、田中賞 208 橋中 36 橋を受賞、海外業務も契約総額約 100 億となり、国内外において社会に貢献してまいりました。一方、当社の親会社である復建調査設計株式会社は、西日本に強固な基盤を持つ経営力と企画力の優れた総合建設コンサルタントとして国内コンサルタントの中核を担っています。

両社は営業地域、得意顧客、業務内容において重複する受注活動部分が少なく、旧社から承継した橋梁設計の技術力や海外展開力と、復建調査設計株式会社の企画、技術力や豊富なサービス内容とが相互に補完しあうことで高いシナジー効果が発揮できるものと考えております。

契約中の業務について

旧社にて業務委託契約を締結している案件に関しましては、当社において引続き業務遂行させていただきたいと存じますので、ご指導方宜しくお願い申し上げます。

承継した建設コンサルタント事業の内容は、旧社の定款に記載された事業目的の全てです。従って、設計・施工管理、同体制等とも、現在の水準と何ら変わりなく、皆様にご迷惑をお掛けすることはございません。

つきましては、今後も従来と変らぬご指導を賜って参りたいと考えておりますので、どうぞ宜しくお願い申し上げます。

以 上